

# 美 術

美術の目標について
<p><b>【教科の目標】</b>            表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</li> <li>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> <li>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</li> </ol>
<p><b>【学年・分野・領域等の目標など】</b></p> <p>[第1学年]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。</li> <li>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</li> <li>(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ol> <p>[第2学年及び第3学年]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</li> <li>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> <li>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ol>

**【参考】**

○ 目標の改善

目標は、次のような視点を重視して改善を図る。

教科の目標では、美術は何を学ぶ教科なのかということを示し、感性や想像力を働かせ、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを一層重視する。そのため、育成を目指す資質・能力を明確にし、生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、これらが実現できるよう以下のように目標を示した。

- (1) 「知識及び技能」については、造形的な視点を豊かにするために必要な知識と、表現における創造的に表す技能に関するもの。
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」については、表現における発想や構想と、鑑賞における見方や感じ方などに関するもの。
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」については、学習に主体的に取り組む態度や美術を愛好する心情、豊かな感性や情操に関するもの。

教科の目標では、これらの(1)、(2)、(3)を相互に関連させながら育成できるように整理した。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間      第2学年－35単位時間      第3学年－35単位時間

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・701 美術・801	美術 1 発見と創造 美術 2・3 探求と継承
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な風景を観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 墨の濃淡を工夫して、奥行きや広がりのある絵を描いたり、心に残った出来事や情景を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものの形や色彩から模様を考えたり、木の特徴やよさを生かした使いやすい工芸品をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 伝えたい内容に合わせた本のデザインを考えたり、籐や竹、ひもなどを編んだ工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 作者の表現した思いや作風などについて話し合う活動を通して、表現方法の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～ 障屏画や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、美術文化の見方や感じ方などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「祭りの造形」の題材において、地域に伝わる祭りを紹介し、社会科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「安心と安全のデザイン」の題材において、校内の安全を考える活動を紹介します。保健体育科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年の巻末で、発想のための「学びの資料」として、まとめのための資料や表現のための技法などを紹介したり、第2・3学年の空間を意識した抽象彫刻の表現題材で、札幌駅のパブリックアートを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2・3学年	美術・702 美術・802	美術1 美術2・3
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な人物のしぐさからイメージを広げて絵を描いたり、自然物や身近にあるものの材料の形や色彩、材質を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、想像の生物のおもしろさや動きを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 形や色彩を工夫して文字のデザインを考えたり、用途や条件に応じて発想を広げ、様々な用途の焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 地域の魅力を伝えるデザインを考えたり、座る人や使う目的に合わせて椅子のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 版の表現のよさや多色刷りの美しさなどについて話し合う活動を通して、版画と絵の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～ 浮世絵の大胆な構図や明快な色彩など日本の美術が西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや表現の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「生活をいろいろ文様」の題材において、エッセターの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年の巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、マッピングや話合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり、第2・3学年の様々な地域の美術文化の鑑賞題材で、伝統的なアイヌ文様を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力を囲みで示したり、表現につながる鑑賞作品と鑑賞が深まる問いを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、作品をつくる際の安全について注意喚起のマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
<p>その他</p>	

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1学年 第2・3学年上 第2・3学年下	美術・703 美術・803 美術・804	美術 1 美術との出会い 美術 2・3上 学びの実感と広がり 美術 2・3下 学びの探求と未来
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かした絵を描いたり、量感や動勢などを生かし、感情やイメージを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然物や人工物を単純化して模様を考えたり、紙の特性、形や色彩に着目し、美しい装飾をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり、木や革などの材料の特性を生かした工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 原始美術の造形的なよさや美しさなどについて話し合う活動を通して、美術文化や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～ 現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「じっくり見ると見えてくる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りにあるものの形や色彩などの特徴を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「季節を楽しむ心」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、季節感を取り入れた和菓子や食器のデザインを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「自然の美しさから生まれた」の題材において、雪の結晶や蜂の巣のハニカム構造を紹介し、理科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、お祝いの気持ちを伝える水引を紹介し、外国語科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年の巻末で、「学びを支える資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、第2・3学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、造形的な視点を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、用具の安全な使い方などについて注意喚起するマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>



<美術の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① 題材（「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞」）ごとのページ数及び総ページ数
- ② 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数
- ③ 材料・用具等の安全指導を取り上げている箇所数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている表現及び鑑賞の内容を適切に指導することが求められていることから、題材ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。
- ③ 学習指導要領において、事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底することが求められていることから、材料・用具等の安全指導について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者		開隆堂		光村		日文		
			1	2・3	1	2・3	1	2・3 上	2・3 下		
①	題材ごとのページ数及び総ページ数	絵や彫刻	ページ数	16	24	16	24	16	12	14	
			全体に占める割合	24%	20%	20%	23%	21%	18%	23%	
	デザインや工芸	ページ数	14	26	16	16	16	12	12		
		全体に占める割合	21%	21%	20%	15%	21%	18%	20%		
	鑑賞（※1）	ページ数	14	34	16	30	16	16	14		
		全体に占める割合	21%	28%	20%	29%	21%	25%	23%		
	その他	ページ数	23	39	33	35	27	25	21		
		全体に占める割合	34%	31%	40%	33%	37%	39%	34%		
	総ページ数			67	123	81	105	75	65	61	
	前回のページ数			58	108	68	106	60	58	58	
増減			16%	14%	19%	-1%	25%	12%	5%		
②	北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数		5	6	2	6	3	4	2		
③	材料・用具等の安全指導を取り上げている箇所数（※2）		5	10	5	3	3	2	3		

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

（※1） 調査項目①の鑑賞の題材は、独立した鑑賞の題材または鑑賞を中心とした題材を対象とし、まとめや学習の補助教材としての扱いとする鑑賞活動、表現と関連を図った鑑賞活動の内容は含まないものとする。

（※2） 調査項目③の安全指導については、囲みやマークで示されている箇所数である。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

発行種	頁	題材名 (該当ページ)	タイトル・主な内容	
開隆堂	1	心ひかれる風景 (P13)	「山 富士山」片岡球子 道立近代美術館蔵	
		ロゴマークで印象づける (P40)	「北海道・北東北の縄文遺跡群 ロゴマーク」	
		文字を活用する (P56)	路面電車の走行レーン表示 (北海道)	
		色を学ぶ、色を知る (P62)	趣が変わる四季の風景 (大通公園)	
		美術館へ行こう (P66)	札幌芸術の森美術館 (隠された庭への道)	
	2	型から生まれる形 (P82)	「ルウンペ」アイヌ民族文化財団蔵	
		形を研ぎ澄ませて (P30)	「妙夢」安田侃 (JR札幌駅)	
	3	場と形の響き合い (P32)	安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄	
		美術がつなぐ世界と日本 (P51)	「鯉文花器」エミール・ガレ 道立近代美術館蔵	
		美術の歴史と交流 (P118)	「中空土偶」函館市蔵	
美術の歴史と交流 (P122)		「ガラスのピラミッド」イサム・ノグチ モエレ沼公園		
光村	1	生活をいろいろ文様 (P40)	アイヌ民族の衣服の文様 旭川市博物館蔵	
		美術館を楽しもう (P79)	ゴッホ展のポスター 北海道立近代美術館	
	2	日本の伝統工芸 (P97)	二風谷イタ	
		北と南の民族衣装 (P99)	アットゥシアミブ アイヌ民族文化財団蔵	
	3	ジャポニズム (P30)	「鯉文花器」エミール・ガレ 道立近代美術館蔵	
		環境とともに生きる彫刻 (P35)	モエレ沼公園 イサム・ノグチ	
		地域の魅力を伝える (P70)	「お菓子メーカーの紙袋」坂本直行 六花亭の紙袋	
		石でつくる (P83)	「ブラック・スライド・マントラ」イサム・ノグチ 札幌市	
	日文	1	材料に命を吹き込む (P20)	「足長グモ」大西重成
			印象に残るシンボルマーク (P44)	札幌市き章
日常の中の美術 (P73)			さっぽろ雪まつり	
2		動き出しそうな動物たち (P14)	「チンパンジー」本濃研太	
		文化の出会いがもたらしたもの (P31)	「鯉文花器」エミール・ガレ 道立近代美術館蔵	
上		暮らしに息づくパブリックアート (P52、P53)	モエレ沼公園 イサム・ノグチ	
		暮らしに息づくパブリックアート (P53)	「生誕」安田侃 創成川公園	
2		私の色、みんなの色 (P37)	アットゥシ アイヌ民族文化財団蔵	
		3 下	受け継ぐ伝統と文化 (P53)	二風谷イタ

※ 「取扱い方」については、編修趣意書に作品や写真、図などの違いが示されていないことから、記載しないこととする。